

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 令和2年度(2020年度)
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在：菊池市原4885番地5</p> <p>② 施設：宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	319,799,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	21,450人	9,534人	前年度実績28,230人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で4月から6月まで休館、大規模改修工事の影響で11月から3月まで休館した。開館期間中も受入数を定員の概ね半数を目安とした影響で、研修者延べ数は大きく減少したがやむを得ないものと認められる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、開館期間中の事故発生は0であった点については評価できる。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	給湯運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年6回(隔月)	専門業者に委託
	身障者用昇降機点検	年1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	自家発電設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年1回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	水質検査	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
夏だ！川だ！サンサンサマー	7/26	13人	川遊びをとおして、子どもたちの交流を深めながら、生きる力を身に付けるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
幼稚園・保育園連携事業～自然のど真ん中で生き生きと～(全3回)	8/18 10/23 11/13	61人	(1) 幼児期における自然体験活動の機会を増やし、自然体験活動を通して、人間形成の基礎(知・徳・体)を培う。 (2) 保護者にとって自然体験活動の楽しさや自然体験活動を子育ての中に入れていく重要性を知る機会とする。 (3) 幼稚園・保育所と自然の家が連携して自然体験活動の指導法を開発する。

ドキドキ！わくわく！サマーキャンプ	8/22, 23	25人	川遊びを通して、異年齢集団の子どもたちの交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、当初予定よりも事業数を減らしての実施となった。実施回数は減ったが、外出自粛が増える環境において、施設の立地環境を生かした自然体験活動を提供した点については評価できる。</p>			

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	298日	324日	92.0%
	宿泊可能日数	173日	322日	53.7%
	利用日数	112日	242日	46.3%
	利用率	37.6%	74.7%	50.3%
	利用者実数	4,353人	7,804人	55.8%
	利用者延べ数	6,942人	16,660人	41.7%
キャンプ場	開館日数	298日	324日	92.0%
	宿泊可能日数	173日	322日	53.7%
	利用日数	0日	19日	0.0%
	利用率	0.0%	5.9%	0.0%
	利用者実数	0人	414人	0.0%
	利用者延べ数	0人	852人	0.0%
出前講座等	利用者実数	1,639人	10,718人	15.3%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>新型コロナウイルスによる受入れ制限や、大規模改修工事の影響で休館していたことが影響し、利用者延べ数が減少した他、出前講座の利用者も減少することとなったが、やむを得ないことと思われる。施設の休所や制限付きでの運営等、県と連携の上、適切に対処を行った。</p>				

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額（円）	
利用料金収入	本館	一般 253 人、高校生以下 2,158 人、就学前の者 129 人	735,650
	キャンプ場	一般 0 人、高校生以下 0 人、就学前の者 0 人	0
	宿泊を伴わない利用	一般 266 人、高校生以下 1,160 人、就学前の者 241 人	84,600
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け (うち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う指定管理料の事業継続支援分)	62,427,000 (2,096,000)	
企画事業等収入	3 事業	110,795	
その他活動収入	出前講座 45 団体	285,700	
プログラム活動料金		961,850	
食事代		5,215,610	
シーツ等クリーニング代		425,680	
雑収入		89,281	
合計		70,336,166	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額（円）
人件費		43,595,814
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	5,428,713
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	18,654,131
企画事業費		56,477
合計		67,735,135

【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。新型コロナウイルスの影響で収入が減少する中、維持管理費等の削減取組により、支出の抑制につなげた。今後は予防保全の視点も踏まえた施設管理に取り組んでほしい。

5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和2年6月1日～令和3年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	71 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	57	80.3	13	18.3	1	1.4	0	0	0	0	0	0
	活動内容	59	83.1	12	16.9	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員の受入れ対応	65	91.5	4	5.6	0	0	1	1.4	1	1.4	0	0
	職員の指導・助言	62	87.3	5	7.0	2	2.8	0	0	0	0	2	2.8
	食堂スタッフの対応	47	66.2	4	5.6	0	0	0	0	0	0	20	28.2
	食事の質	32	45.1	13	18.3	10	14.1	1	1.4	0	0	15	21.1
	食事の量	36	50.7	15	21.1	4	5.6	0	0	0	0	16	22.5
	屋内の施設・環境	42	59.2	10	14.1	9	12.7	1	1.4	1	1.4	8	11.3
	屋外の施設・環境	49	69.0	15	21.1	4	5.6	0	0	0	0	3	4.2
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
	52	73.2			16	22.5			0	0	3	4.2	
利用者からの意見等													
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>前年度に比べると「非常によい」の項目が、全評価項目で上昇した。「食事の質」については、年度途中に新規設備の導入や、メニューの改善を実施することで数値の改善に取り組まれており、結果が出たことは評価できる。</p>													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
安心・安全の観点を含めた食堂サービスの向上に向けた継続的な取り組みを進めてほしい。	アンケート結果から把握した課題については食事の提供方法を改善する等し、利用者からの高評価につなげた。

<p>利用者アンケートの自由記述欄や活動中の利用者の声などから、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図ってほしい。</p>	<p>今まで利用団体アンケートは代表者1人に記入してもらっていたが、他の参加者（子どもたち）にもアンケート（自由記述）を実施し、より多くの利用者から意見を集めるよう改善したことで、今まで気付かなかった内容に気付くことができるようになる等、改善に努めた。</p>
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>食堂サービスの利用向上については、新たな備品を整備する等、県との連携のもと改善に取り組んだ。</p> <p>利用者アンケートについては、方法を見直す等、改善にむけて取り組むことができた。</p>	

8 その他

<p>特になし</p>
